

保育原理（1回目） 補助資料

2022.4.4.

担当：佐々木和

< 本日の補助資料 >

1. 日本の保育の現状と課題

2. 保育の思想

欧米における新しい子ども観と保育思想

日本における子育てと保育思想

<日本の保育の現状と課題> ①

【1】子どもの状況

- ・家庭における養育機能の低下
- ・子どもの遊びの衰退
- ・人間関係の希薄化
- ・直接体験の不足
- ・画一的保育への傾斜

※睡眠について PDF

<日本の保育の現状と課題> ②

【2】 少子化と就労の両立

- ・ 待機児童が多い
- ・ 保育所以外の施設

【3】 貧困

- ・ 教育格差と健康格差

<日本の保育の現状と課題>③

【4】虐待

- ・子育てに関する親の責任意識

(昔) 大家族、地域の密着度濃い
子育ては気楽なもの

(今) 核家族 地域の子育てへの理解、協力薄い
子育ては母親に集中しがち

< 日本の保育の現状と課題 > ④

- ・ ストレス増大の結果
 - 身体的・心理的虐待
 - 育児の責任に無自覚な親（グレスト）
 - 責任感の強い親による虐待も
 - 親自身の後悔を伴いながら行われている事実もある
- ↓
- 家庭養育機能の低下
- ・ 保育者による虐待、事故死…子どもの権利、子どもの人権

< 保育の思想 > ①

【1】 欧米における新しい子ども観と保育思想 テキストP85～

中世から近世

- ① コメニウス
- ② ルソー
- ③ ペスタロッチ
- ④ フレーベル

現代

- ① エレン・ケイ
- ② モンテッソーリ
- ③ デューイ

< 保育の思想 > ②

保育施設

①オーベルラン 幼児保護所

②オウエン 幼児学校

③フレーベル 幼稚園

< 保育の思想 > ③

【2】日本における子育てと保育思想 テキストP99～
江戸中期（1700年過ぎ）

子育て書が出版

香月牛山（1656-1740） 「小児必用養草」（1703）

貝原益軒（1630-1714） 「和俗童子訓」（1710）

江戸後期

商業が栄える 年貢の徴収が過酷

農民の生活は困窮を極めていく 間引き、子殺し通例

< 保育の思想 > ①

・ 佐藤信淵 (1769-1850)

「垂統秘録」(1849)

「慈育館」と「遊児廠」 実現することはなかった

明治時代

1872(明治5)年 「学制」

日本最初の託児施設 1900年

日本初の公立保育所 1919年

< 保育の思想 > ⑤

日本初の幼稚園

テキスト P94～

1876(明治9)年

東京女子師範学校 (現在の御茶ノ水女子大学) 附属幼稚園

保育は、フレーベルの恩物中心

- ・ 倉橋惣三の保育論